

有機・バイオエレクトロニクス分野の進展

-岩本光正先生と工藤一浩先生を偲んで-



令和8年8月3日（月）

東京科学大学 蔵前会館

手島精一記念会議室

電子情報通信学会 有機エレクトロニクス研究会

開催の趣旨

本研究会は、電子情報通信学会 有機エレクトロニクス研究会(OME 研究会)の二種研として開催し、昨年ご逝去された東京科学大学名誉教授の岩本光正先生と千葉大学名誉教授の工藤一浩先生を偲びながら、両先生が発展に多大な貢献をされた「有機・バイオエレクトロニクス分野の進展」について関連の分野で活躍されている先生方にご講演を頂く機会として企画致しました。20世紀後半、両先生が博士学生として研鑽されていたころ黎明期にあった有機エレクトロニクスーバイオエレクトロニクス分野において、長く培われてきた伝統が新しい創造をともなって受け継がれ、また、いろいろな形で未来への挑戦が同時並行的に行われているものと思います。本研究会を、先生方の事績に学びつつ新しい価値創出へ向けての良い機会として頂ければ幸甚です。

世話人

伊東 栄次 信州大学

酒井 正俊 千葉大学

田口 大 東京科学大学

General Information

電子情報通信学会 有機エレクトロニクス研究会（二種研）

有機・バイオエレクトロニクス分野の進展 ―岩本光正先生と工藤一浩先生を偲んで―

（主催 電子情報通信学会 有機エレクトロニクス研究専門委員会）

日時 2026年8月3日（月） 13：00－17：40

会場 東京科学大学 蔵前会館 A館3階

手島精一記念会議室

（〒152-8550 目黒区大岡山2丁目12-1）

アクセスマップ

- ・大岡山駅の正面口を出てロータリーの向こう側の建物が蔵前会館です
建物入口を入り左手のエレベーターで3階へお上がりください。左側へお進み頂くと会場（手島精一記念会議室）となります。

東京科学大学



東京科学大学 蔵前会館



東急 目黒線・大井町線
大岡山駅

現地聴講参加費 2,000 円（一般） 無料（学生）

Website: <https://www.ieice.org/es/ome/jpn/index.html>

—講演会の部：プログラム—

13:00—13:05

開会の辞 伊東 栄次 (信州大学)

13:05—13:45

金藤 敬一 (大阪工業大学)

「有機エレクトロニクスの誕生と将来」

13:45—14:25

渡邊 康之 (公立諏訪東京理科大学)

「工藤先生との邂逅と有機半導体デバイスの温故知新」

14:25—15:00

間中 孝彰 (東京科学大学)

「分極からキャリア輸送へ：分光学的手法による有機電子材料・デバイスの評価」

(休憩)

15:15—15:50

真島 豊 (東京科学大学)

「単分子膜の変位電流計測から

単分子デバイス・ナノポア DNA シーケンスへの展開」

15:50—16:25

三浦 康弘 (浜松医科大学)

「ラングミュア・プロジェクト法とインターカレーション法を用いる

有機・無機層状ハイブリッドペロブスカイト薄膜の作製と評価」

16:25—17:00

松原 亮介 (静岡大学)

「気相法による高分子薄膜成長とデバイス応用」

17:00—17:35

酒井 正俊 (千葉大学)

「有機デバイス動作のサブナノ秒～ミリ秒時間分解解析」

17:35—17:40

閉会の辞 酒井 正俊 (千葉大学)